

**新しい時代の政治を
日本の未来を創る**

前衆議院議員

中司 宏

なかつか ひろし

活動報告
令和6年8月 Vol.8

維新の改革で大阪から日本を変える

おかげさまでこの3年間、「維新の改革で大阪から日本を変える」との決意で、「既得権益」の解消をはじめ、様々な課題の解決に向けて精力的に取り組んできました。

しかしながら、コロナ禍後も物価高騰は続き、実質賃金は上がらず、気候変動による災害の頻発などで社会全体が疲弊し、格差が広がっています。さらに、自民党の「裏金問題」から政治に対する不信感が募り、徹底した政治改革による信頼回復が不可欠です。

一方で、ロシアのウクライナ侵略以降、世界の分断化が進み、日本を取り巻く安全保障環境も厳しさを増しています。

この先の人口減少を乗り越え、安心安

全で持続可能な社会を構き、経済成長と格差解消を実現することは、まさに政治の役割です。

維新の会はこれまで、国民の皆さんに寄り添い、「改革保守」の立場から是々非々で政権と対峙してきました。今こそ抜本的な国政改革が必要であり、次期衆院選では、与党過半数割れをめざす覚悟です。

生まれ育ったふるさと枚方・交野を愛する一人として、豊かで活力ある地域社会を実現するため、長年にわたり地元の政治に携わってきた経験を活かし、変わらなかつた日本の政治を大阪から変えるべく、これからも力を尽くしてまいります。

中司 宏(なかつかひろし)プロフィール

昭和31年生まれ。父母ともに交野・私部出身で、父の祖母は助産所を営む。うみのほし幼稚園、枚方市立殿二小、第三中学、府立寝屋川高校、早稲田大学卒。

昭和54年4月から産経新聞社記者。東京本社政治部で中曾根首相番、自民党田中派・竹下派等を担当し、国政の取材を行う。

昭和62年4月から大阪府議会議員(自民)。平成7年5月から枚方市長。マニフェストを導入し市政発展に努める。府市長会会長、全国青年市長会会長等を歴任。

平成27年4月から大阪維新の会府議会議員として、党副政調会長、府議団政調会長、府議会私学振興議員連盟会長、新名神促進議員連盟会長等を歴任。

令和3年10月から衆議院議員。日本維新の国会議員団代表補佐、国会対策委員長代理、衆議院議院運営委員、総務常任委員会理事、情報監視審査会委員。

地元では、枚方市グラウンド・ゴルフ連合会、枚方市ラグビー連盟、枚方市ドッジボール協会、大阪交野リトルシニア野球協会、宮之阪中央商店街振興組合、牧野愛する商店会、津田サイエンスヒルズまちづくり協議会、樟葉南校区コミュニティ協議会等の各顧問。寝屋川高校北水会常任理事、枚方JCシニアクラブ会員、交野おりひめライオンズクラブ会員として活動

国会で抜本的な政治改革に挑戦

～ブレない維新の姿勢～

国会では、日本維新の会国会議員団の代表補佐、国会対策委員長代理として、馬場伸幸代表を補佐し、遠藤敬国会対策委員長を支えてまいりました。常に国民の生活者目線に立って、政府与党の増税や国民負担増の路線に断固反対し、政治改革を徹底して進めるとともに、上程された法案の修正や法案提出に精力的に取り組みました。

本会議 委員会で 69回にわたる質問、討論 法案70本を提出

～プロジェクトチームのリーダーとして活動～

本会議や総務常任委員会では、地方分権改革を推進し、地方財源の確保など、「地方の自立」を後押しする立場から、総理や担当大臣に質問。地方自治法改正案など法案修正にも力を尽しました。このほか、NHK改革、消防力強化、インターネット誹謗中傷対策など、中司氏の質問や討

論は計69回に及びました。一方、法案提出においては、政治改革関連法案をはじめ、副首都推進法案、NHK改革法案など、この3年間で日本維新の会が提出した法案は70本にのぼります。

また、中司氏は、他党と連携して政治改革を推進するプロジェクトチームの座長としても、法案提出に尽力。政府が定める特定秘密の適正な運用を国会でチェックする情報監視審査会にも所属し、国益を守る立場から制度を充実するよう指摘しました。

維新が国会審議の「要」!

かなめ
～国会対策委員会や議院運営委員会で奔走 各メディアにも登場～

日々の国会活動においては、与野党が激しくぶつかって国会審議がストップすることもしばしば。中司氏は、国対委員長代理、議運委員として、遠藤委員長とともに国対委員長会談や議運理事会にも出席し、動かない国会を前に進め、正常化と審議促進に努めてきました。

政治改革の取り組み

- ◆ 政策活動費の廃止
- ◆ 政治団体の会計責任者を議員本人に
- ◆ 国会議員定数の大幅削減
- ◆ 政治資金の世襲を制限

自民党の裏金問題で揺れた前国会においても、予算委員会や政治倫理審査会、政治改革特別委員会の審議に向けて他党との協議に奮闘するなど、維新の会は、常に国会審議の『要』としての役割を果たしてきました。



挑戦する 維新の実行力と実績

大阪維新の会枚方市・交野市支部の主な取組み

枚方

- 小学校給食無償化
- 都市計画道路の供用開始(長尾杉線、杉工区、御殿山小倉線など)
- 楠葉地区での雨水貯留施設の整備
- 全小中学校体育館へのエアコン整備
- 枚方市駅前行政サービスフロア開設(まるっこどもセンター、市民窓口センター、市駅前図書館、生涯学習交流センターなど)

交野

- 交野みらい学園の整備支援
- 新規病児保育施設の創設
- 免許返納者への補助制度の実現
- ごみの持ち去り行為禁止条例の制定

新名神など道路整備／淀川の舟運活用と防災対策

地元の交通ネットワークについては、新名神高速道路の建設及び(仮)淀川新大橋などアクセス道路の整備を促進する一方、船橋地域の騒音問題で、遮音壁の拡充を実現しました。スマートインターチェンジ設置については、開通後の交通状況を踏まえ

て国の支援を求めます。

また、淀川大堰(おおぜき)の閘門(こうもん)整備により、今後、舟運の活性化が見込まれることに伴い、災害時の航路確保、船着き場の整備や、緊急物資の輸送など災害対応計画の策定を国に働きかけました。

代表キャラバン“全国走破” 台湾、サイパン訪問／各国議員団と交流

馬場代表の全国キャラバンに代表補佐として随行し、7月末で全都道府県“走破”を達成しました。

また、台湾への友好訪問団のメンバーとして、昨夏に台北を訪問。蔡英文総統(当時)をはじめ、台湾首脳陣と会談しました。今夏には、米国・サイパンで行なわれた日米合同の戦没者慰靈祭に参列。幾多の英靈

のご冥福をお祈り申し上げるとともに、現地で遺骨調査を実施しました。

国会では、ウクライナ、アイルランド、モロッコ、バングラデシュ、モザンビークなど10カ国を超える議員団、使節団の国会訪問に際し、議運委員として交流を深めました。

日本維新の会 大阪府第11区
枚方市・交野市の特別党員

維新が実現をめざす

4大政策

1 政治腐敗を浄化する 政治改革

企業団体献金と政策活動費の廃止。文書通信交通滞在費など議員特権の可視化と見直し。議員定数の大幅な削減・世襲制限の断行。

2 世代間不公平を打破する 社会保障の抜本改革

現役世代に不利な制度は徹底的にすべて見直す。高齢者医療制度の適正化による現役世代の社会保険料負担軽減(各種支援金の廃止)。年金は抜本改革して、積立方式または最低所得保障制度を導入する。

3 可処分所得を倍増させる 成長戦略・規制改革

労働市場の流動化(金銭解決ルールの制度化等)。ライドシェアをはじめとする既存産業(農業・医療等)への参入障壁撤廃。既得権に囚われない大胆な規制改革で産業を成長させ、給料(賃金)を飛躍的に伸ばす。

4 所得制限のない 教育無償化

義務教育に加えて幼児教育・高校において所得制限のない完全無償化を実現。大学・大学院などの改革と合わせて、教育の全過程の無償化を目指す。

身を切る改革

日本維新の会 国会議員団

平成28年よりカット総額
約6億7,000万円

※その他、赤坂宿舎家賃引き下げ分カット等
※昨冬期末手当はさらに10万円カット

国会議員の定数削減をめざす

大阪	議員定数	議員報酬
府議会	~2011年 109人 → ~2022年 79人	30%カット
市議会	~2011年 86人 → ~2023年 70人	約35%カット

能登半島

地震復興支援 7,500万円
豪雨災害支援 3,000万円

ウクライナ

人道支援 1億4,990万円

東北4県・茨城県

原発処理水放出に係る風評被害対策 5,146万円

岩手・宮城・福島県内市町村

東日本大震災復興支援 4,200万円

台湾

地震復興支援
・2018年 1,000万円
・2024年 3,000万円

